



## 大雄寺山門(県指定重要文化財)

[http://digitalarchiveproject.jp/information/大雄寺山門\(県指定重要文化財\)](http://digitalarchiveproject.jp/information/大雄寺山門(県指定重要文化財))



所在地 高山市愛宕町 67 番地

所有者 大雄寺

指定年月日 昭和 47 年 9 月 18 日

構造形式 重(じゅう)層(そう)入(いり)母(も)屋(や)造(づくり) 銅板葺(どうばんぶき)

大雄寺は、もと吉城郡上広瀬村(国府町)にあったが、金森氏入国後現在地に移され、浄土宗の道場となった。上広瀬には「大雄寺屋敷」という地名が残っている。市内唯一の楼門造で、法華寺、宗猷寺の本堂と共に東山寺院群伽藍の代表的な建物である。

12本の丸柱は太く、カツラ材である。通常のアサギやスギではなく、カツラやクリ、マツなど多彩な木材を使うことも、木材を知り尽くした飛騨匠の技の大きな特徴である。落とし込み板で囲まれた仁王座前の南北が、透し菱形欄間になっている。透しを通して東山の景観を見せようとの配慮からである。両脇に仁王像を安置している。

二層柱間は下層より狭く、柱頭の二(ふた)手(て)先(さき)和様斗組(ますぐみ)が深い飛(ひ)檐(えん)軒を支える。下層屋根上に三(みつ)斗(と)組腰組で縁を張り出し、高欄で四面を囲む。ここからの市内の眺めはずばらしい。

寛政3年(1791)の大風で倒壊したが、17年後の文化4年(1807)、飛騨(ひだ)権守(ごんのかみ)宗安(むねやす)の流れをくむ近世の名工水(みず)間(ま)相模(さがみ)の手で再建された。

説明板より



001\_①大雄寺境内四方001



002\_①大雄寺境内四方002



003\_①大雄寺境内四方003



004\_①大雄寺境内四方004



005\_①大雄寺境内四方005



006\_①大雄寺境内四方006



007\_①大雄寺境内四方007



008\_①大雄寺境内四方008



009\_①大雄寺境内四方009



010\_①大雄寺境内四方010



011\_①大雄寺境内四方011



012\_①大雄寺境内四方012



013\_②大雄寺・境内施設001



014\_②大雄寺・境内施設002



015\_②大雄寺・境内施設003



016\_②大雄寺・境内施設004



017\_②大雄寺・境内施設005



018\_②大雄寺・境内施設006



019\_②大雄寺・境内施設007



020\_②大雄寺・境内施設008



021\_②大雄寺・境内施設009



022\_③大雄寺境内・地獄図001



023\_③大雄寺境内・地獄図002



024\_③大雄寺境内・地獄図003



025\_③大雄寺境内・地獄図004



026\_③大雄寺境内・地獄図005



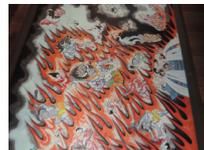
027\_③大雄寺境内・地獄図006



028\_③大雄寺境内・地獄図007



029\_③大雄寺境内・地獄図008



030\_③大雄寺境内・地獄図009



031\_③大雄寺境内・地獄図010



032\_③大雄寺境内・地獄図011



033\_③大雄寺境内・地獄図012



034\_③大雄寺境内・地獄図013



035\_③大雄寺境内・地獄図014



036\_③大雄寺境内・地獄図015



037\_③大雄寺境内・地獄図016



038\_③大雄寺境内・地獄図017



039\_③大雄寺境内・地獄図018



040\_③大雄寺境内・地獄図019



041\_③大雄寺境内・地獄図020



042\_③大雄寺境内・地獄図021



043\_③大雄寺境内・地獄図022



044\_③大雄寺境内・地獄図023



045\_③大雄寺境内・地獄図024



046\_③大雄寺境内・地獄図025



047\_③大雄寺境内・地獄図026



048\_③大雄寺境内・地獄図027



049\_③大雄寺境内・地獄図028



050\_③大雄寺境内・地獄図029



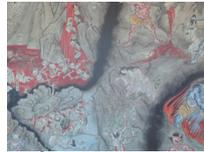
051\_③大雄寺境内・地獄図030



052\_③大雄寺境内・地獄図031



053\_③大雄寺境内・地獄図032



054\_③大雄寺境内・地獄図033



055\_③大雄寺境内・地獄図034



056\_③大雄寺境内・地獄図035



057\_③大雄寺境内・地獄図036



058\_③大雄寺境内・地獄図037



059\_③大雄寺境内・地獄図038



060\_③大雄寺境内・地獄図039



061\_③大雄寺境内・地獄図040



062\_③大雄寺境内・地獄図041



063\_③大雄寺境内・地獄図042



064\_③大雄寺境内・地獄図043



065\_③大雄寺境内・地獄図044



066\_④大雄寺本堂001



067\_⑤説明板001



068\_⑤説明板002



069\_⑤説明板003



070\_⑤説明板004



071\_⑤説明板005



072\_⑥大雄寺山門001



073\_⑥大雄寺山門002



074\_⑥大雄寺山門003



075\_⑥大雄寺山門004



076\_⑥大雄寺山門005



077\_⑥大雄寺山門006



078\_⑥大雄寺山門007



079\_⑥大雄寺山門008



080\_⑥大雄寺山門009



081\_⑥大雄寺山門010



082\_⑥大雄寺山門011



083\_⑥大雄寺山門012



084\_⑥大雄寺山門013



085\_⑥大雄寺山門014



086\_⑥大雄寺山門015



087\_⑥大雄寺山門016



088\_⑥大雄寺山門017



089\_⑥大雄寺山門018



090\_⑥大雄寺山門019



091\_⑥大雄寺山門020



092\_⑥大雄寺山門021



093\_⑥大雄寺山門022



094\_⑥大雄寺山門023



095\_⑥大雄寺山門024



096\_⑦山門前・四方001



097\_⑦山門前・四方002



098\_⑦山門前・四方003



099\_⑦山門前・四方004



100\_⑦山門前・四方005



101\_㉟山門前・四方006



102\_㉟山門前・四方007



103\_㉟山門前・四方008



104\_㉟山門前・四方009



105\_㉟山門前・四方010



106\_㉟門前の年輪見本(仁王の材)001



107\_㉟門前の年輪見本(仁王の材)002



108\_㉟門前の年輪見本(仁王の材)003



109\_㉟門前の年輪見本(仁王の材)004



110\_㉟仁王001



111\_㉟仁王002



112\_㉟門下方の四方001



113\_㉟門下方の四方002



114\_㉟門下方の四方003



115\_㉟門下方の四方004



116\_㉟門下方の四方005



117\_㉟門下方の四方006



118\_㉟門下方の四方007



119\_㉟門下方の四方008



120\_㉟門下方の四方009



121\_㉟門下方の四方010



122\_㉟門下方の四方011



123\_㉟門下方の四方012



124\_㉟門下方の四方013



125\_㉟山門建物001



126\_㉟山門建物002



127\_㉟山門建物003



128\_㉟山門建物004



129\_㉟山門建物005



130\_㉟山門建物006



131\_㉟山門建物007



132\_㉟山門建物008



133\_㉟山門建物009



134\_㉟山門建物010



135\_㉟山門建物011



136\_㉟山門建物012



137\_㉟山門建物013